

岩通計測が「半導体カーブトレーサCS-シリーズ」に対応した 「スキャナーシステムCS-700シリーズ」を販売開始

岩通計測株式会社（本社：東京都杉並区、社長：齋藤 操、資本金：4億5千万円、以下：岩通計測）は、従来から発売する「半導体カーブトレーサCSシリーズ」の測定デバイスを自動的に切り替り替える「スキャナーシステムCS-700シリーズ」の販売を開始します。発売開始は2013年6月4日から、受注開始は即日。価格は仕様により異なります。岩通計測の国内外の販売代理店経由で販売します。岩通計測は、CS-700シリーズを、向こう1年間に50台の販売を見込んでいます。

開発の背景と概要

岩通計測は10kV/8000AのCS-10800を頂点とする世界最高峰の半導体カーブトレーサをラインアップしてきましたが、同時に多くのデバイスを測定したいというニーズが高まってきました。CS-700シリーズは高電圧・大電流を与えながら、測定デバイスの安全な連続切り替えが可能で、開発、評価作業の大幅な効率化が可能となりました。

スキャナーシステムCS-700シリーズの構成

スイッチコントロールユニット CS-701（基本制御ユニット）リレーユニット8台まで制御できます

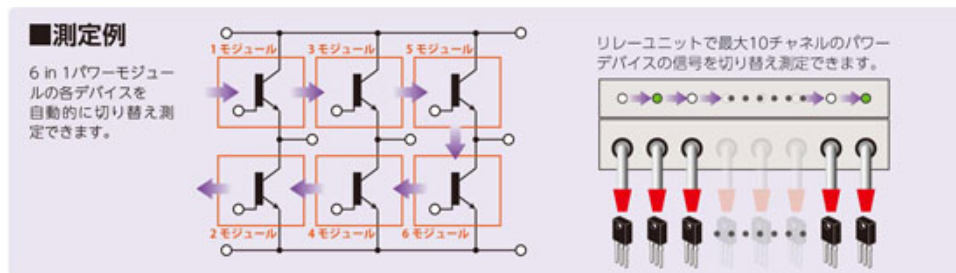
- LVリレーユニット → CS-702（低電圧用ユニット）
- HVリレーユニット → CS-703（高電圧用ユニット）
- HCリレーユニット → CS-704（大電流用ユニット）
- HC/HVスイッチユニット → CS-705（高電圧・大電流用切り替えユニット）
- エクステンションケーブル → CS-706（延長用ユニット）

CS-701にて、最大8台までのリレーユニットの制御ができます。CS-701を100台並列に使用することで、最大800台までのリレーユニットを増設することが可能です。今後、さらに高電圧、大電流のユニットも順次開発していきます。（※設計値）

スキャナーシステムCS-700シリーズの特長

1. リレーユニットを組み合わせることで、さまざまなデバイスの自動測定に対応

リレーユニット1台で最大10チャンネルの信号切り替えが可能です。下の写真の構成例では最大2kV/1000AのIGBTデバイスを、最大10個の自動切り替え測定が可能です。



2. システムの800台までの増設が可能

CS-701を増設することにより、最大800台までのリレーユニット増設が可能です。これにより極めてフレキシブルなシステムの構築が可能となりました。

3. CS-810オプションと組み合わせてデバイスの大量自動測定が可能

従来、測定のために必要だった結線作業が不要となり、実験、評価作業が大幅に改善されます。（CS-810半導体パラメータ測定ソフトウェア：CSシリーズ共通オプション）

スキャナーシステムCS-700シリーズの外観



スキャナーシステムCS-700シリーズ
(商品ページ、半導体カーブトレーサは→[こちら](#))

お問い合わせ先

■ お客様

岩通計測株式会社 営業部
〒168-8511 東京都杉並区久我山1-7-4 1
電話：03-5370-5474 FAX：03-5370-5492

岩通計測株式会社 西日本営業所
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-12-38
(ソリトンビル8F)
電話：06-6330-5280 FAX：06-6330-5287

■ メディア関連の方

岩通計測株式会社 マーケティング部
〒168-8511 東京都杉並区久我山1-7-4 1
電話：03-5370-5473 FAX：03-5370-5492

仕様

[スキャナーシステムのページをご覧ください。](#)